

## 東部市場前駅 (JR大和路線) ①

## 大阪に残る百済王朝の痕跡を訪ねて



「大阪あそび歩マップ集」  
その3 No.138

## JR東部市場前駅

駅周辺は、古代、渡来人たちの集住地であったようで、かつては百済野と呼ばれていました。明治42年(1909)から昭和20年(1945)ころまでは近くに旧国鉄の旅客駅「百済駅」も存在していました。

## ① 百済駅

昭和38年(1963)開業の日本最大級の貨物駅です。東住吉区を流れる今川・駒川流域、および生野区西部を流れる平野川 (=古名・百済川)流域一帯は、ほぼ古代の百済野、百済郡の場所と一致すると考えられています。



## ② 奥村橋の石碑

大阪と奈良とを結ぶ「亀の瀬越え奈良街道」(国道25号線にほぼ沿って走る旧街道)が駒川を渡る地点に架けられています。嘉永6年(1853)11月、平野郷今在家村(現・今川町)の奥村林右衛門が米寿の祝いに私財500円をもって石橋を寄付したところ、お上より「奇特なこと」と認められ、橋名に奥村と入れることを許可されました。

## ③ 成恩寺 (寝釈迦石像・力士の墓)

臨済宗東福寺派の準別格寺院です。弘安2年(1279)、関白一条実経が山崎(京都府乙訓郡大山崎)に創建しましたが、明治時代、梅田墓地に移り、その後、

梅田付近の発展に伴い、当地に移転してきました。石造の釈迦涅槃像は江戸時代の秀作です。

## ④ 生野八坂神社

創建は文禄二巳年(1593)、または元禄二巳年(1689)で、林寺村の氏神で、スサノオ(牛頭天王)を祀ります。枝郷・林寺新家村にはスサノオの妻・クシナダヒメを祀る林神社もありました。一説によれば、「林寺」の地名は渡来系氏族である林史の氏寺であったからともいわれています。

## ⑤ 桑津街道

天王寺区の細工谷を基点とし、「木野」(桃谷)「岡」(勝山北)「舍利寺」「林寺」などの村々を経て、東住吉区の桑津に至る街道です。仁徳天皇の妃・髪長媛が桑津に住まわられていて、天皇が高津宮から媛のもとにしばしば行幸された道筋ともいわれています。

## ⑥ 舎利尊勝寺

かつて境内に善光堂があり、これは百済王善光を祀る廟であったとされ、当寺を百済王氏の氏寺である「百済寺」に比定する説があります。



## ⑦ 平野川 (百済川)

かつては百済川と呼ばれていました。古代には数多くの渡来人たちが、この百済川付近で生活していたのでしょう。現在は付け替えられています。

## JR東部市場前駅

